

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験	担当氏名	時間数
				職種		
保健医療論	1	1	後期	看護師	校長	15
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%		
評価方法	筆記試験, 提出物			教科書・参考資料	総合医療論 /医学書院	
概要	医師の補助者としてではなく、自立した職業人としての看護師は如何にあるべきかを考えさせる。					
目標	1. 本来の看護は、医師が力点を置く生物学的なものの見方とは一線を画した職務であることを理解させる 2. ケアを通じて育まれる人間心理の深い理解が求められる専門職であることを理解させる 3. 省察的实践家として常に自らを振り返る姿勢が求められていることを自覚させ、良い看護とはどのような看護か、良い看護師にはどのような資質が必要か考えさせる 4. 医療倫理の基本的理念と基礎的な考え方について理解させる					
回数	授業内容・計画					
1	看護の心と看護師という職業					
2	医療と看護の原点・その変遷					
3	私たちの生活と健康					
4	科学技術の進歩と現代医療の最前線					
5	現代医療の新たな課題					
6	医療を見つめ直す新しい視点					
7	保健・医療・介護・福祉の近未来像					
8	終講試験					
留意事項						

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験	担当氏名	時間数
				職種		
保健学	2	2	後期	医師 保健師	外部講師 2名	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
○該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%		
評価方法	筆記試験, 学修意欲, レポート			教科書・ 参考資料	公衆衛生 /医学書院	
概要	社会で暮らす人々の健康と生活を考え課題と現在の法制度・保健活動を整理する。人々を個人として捉えるだけでなく、影響を及ぼしあっている集団・地域という幅広い視野から理解をする。疫学的診断に基づく疾病予防の方策について等、保健・医療の中で看護の役割について理解する。					
目標	1. 公衆衛生の理念を理解できる 2. 重要な統計指標を述べることができる 3. 保健・医療の中の看護の役割について理解する					
回数	授業内容・計画					
1	医師:6時間 公衆衛生の理念 1章 「公衆衛生のエッセンス」 3章 「公衆衛生のしくみ」					
2	地域保健・統計指標 4章 「集団の健康をとらえるための手法」					
3	感染症とその予防 6章 「感染症とその予防対策」					
4・5	保健師:24時間(終講試験2時間含む) なぜ学ぶ? 公衆衛生、公衆衛生の対象					
6・7	2章 公衆衛生の活動対象					
8・9	3章 D「専門職のはたらき」					
10	5章 環境と健康					
11	8章 地域における公衆衛生の実践					
12	9章 学校と健康					
13・14	10章 職場と健康					
15	終講試験					
留意事項						

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名	時間数
				職種			
家族論	1	1	前期	看護師		専任教員	15
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価方法	筆記試験, 授業への参加態度			教科書・参考資料	家族看護学 /医学書院		
概要	看護者の役割として、「患者を支える家族」がどのような存在なのか、家族が果たしている、あるいは果たすべき役割がどうあるべきなのか、本来の機能・役割を果たすために看護者にはどのような役割が期待されているのかなど、様々な視点からできるだけ多くの事例を通して、具体的に考えさせる。						
目標	1. 家族看護学が必要とされている時代背景、家族看護の定義、家族のセルフケア機能、健康問題への家族の対応能力を事例研究などを通して考えさせる 2. 家族の形態とその変化、わが国の家族の特徴を事例研究などを通して考えさせる 3. 家族看護アセスメントの具体的視点について学ぶ 4. 家族看護計画の立案について、具体的事例を通して学ぶ 5. 本校が採用している「家族生活力量モデル」を通して、家族看護アセスメントモデルを学ぶ 6. 看護者に求められる「看護者の役割と援助姿勢について」具体的事例を通して考えさせる						
回数	授業内容・計画						
1	家族看護学とは						
2	わが国の家族の特徴						
3	家族看護アセスメント						
4	家族看護アセスメント 2						
5	看護計画の立案						
6	家族アセスメントモデルの概要						
7	看護者の役割と援助姿勢						
8	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験	担当氏名	時間数
				職種		
社会福祉学	1	2	後期	社会福祉士	外部講師	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%		
評価方法	筆記試験(80点), 出席状況, レポート(20点)			教科書・参考資料	社会保障制度と生活者の健康③社会福祉 /医学書院 「認知症の人から学ぶクリスティーン・フライデン」 /DVD	
概要	社会福祉と医療、社会保障の関連について理解し、社会福祉向上のための看護の役割について理解する。					
目標	1. 社会保障制度と社会福祉について、体系立てて理解できるようにする 2. パワーポイントや動画などを使い、わかりやすい授業に努め、理解を深めることで、将来のスキルに役立てられるようにする					
回数	授業内容・計画					
1	導入 社会保障制度と社会福祉					
2	社会福祉の法制度					
3	社会福祉法と福祉6法 社会福祉の財政 社会福祉の組織と実施体制 社会福祉の従事者と担い手					
4	社会保障制度 狭義の分類として 社会福祉について理解を深める					
5	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向					
6	医療保障					
7	介護保障					
8	介護保険を知ろう！ サービスを使うまでの流れ					
9	所得保障					
10	公的扶助					
11	社会福祉の分野とサービス					
12	障害者福祉					
13	振り返り					
14	振り返り					
15	終講試験					
留意事項						

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験	担当氏名	時間数
				職種		
社会保障制度	1	2	後期	看護師	慈風会職員	15
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)		
該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%		
評価方法	筆記試験, 学修意欲, レポート			教科書・参考資料	社会保障制度と生活者の健康④看護関係法令 / 医学書院	
概要	看護職に関する法律・制度について理解する。					
目標	1. 保健師助産師看護師法の概要、重要な項目を理解できる 2. その他の法律に関する概要を理解できる					
回数	授業内容・計画					
1・2	2章A 「保健師助産師看護師法」 ⑦「業務」 ⑥「学校・養成所」					
3	2章B 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」					
4	3章A 「医療法」					
5	3章B ①c「薬剤師法」 ②a「診療放射線技師法」 b「臨床検査技師等に関する法律」 c「理学療法士及び作業療法士法」					
6	3章C ⑤「緊急時の看護・医療」					
7	8章A a「労働基準法」 i「育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」					
8	終講試験					
留意事項						